

～地下鉄開通100周年を記念して、来年本設置予定～

銀座線上野駅にてロンドン市交通局から寄贈された駅名標の除幕式を行いました。

東京地下鉄株式会社(本社:東京都台東区、代表取締役社長:小坂彰洋、以下「東京メトロ」)は、2027年12月に迎える地下鉄開通100周年を記念して、ロンドン市交通局より現地デザインの駅名標の寄贈を受けました。これを受け、本日、銀座線上野駅2番ホーム(浅草方面行)にて来日中のサディク・カーン ロンドン市長を迎え、駅名標の除幕式を行いました。

1927年12月30日に東洋初の地下鉄として上野～浅草間が開通し、2027年12月30日に100周年を迎えます。これは、東京地下鉄道株式会社(東京メトロの前身)の創設者である早川徳次が、100年以上前に英国ロンドンにおいて地下鉄を視察し、その先進的な都市交通に感銘を受けたことを契機としたものであり、ロンドン地下鉄は、東京メトロの原点とも言える存在です。

また、東京メトロは The Go-Ahead Group Limited 及び住友商事株式会社とともに出資設立した事業会社 GTS Rail Operations Limited を通じて、2025年5月より英国エリザバス・ラインの運営事業を開始し、100年以上前から始まったロンドン地下鉄とのつながりは、現在の事業展開へと発展しています。

本日の除幕式では、カーン市長が東京メトロの小坂社長とともに駅名標を披露し、その後、ロンドン市交通局コミッショナーのアンディ・ロード氏および東京メトロ上野駅社員らとともに記念撮影を行いました。

なお、本駅名標は、ロンドン地下鉄で実際に使用されているデザインを採用するとともに、東洋初の地下鉄開業区間である「UENO(上野)」を記しております。本日の除幕式後に一旦撤去いたしますが今後設置工事等の準備を進め、地下鉄開通100周年を象徴するモニュメントとして2027年に本設置を予定しています。



東京メトロでは、2027年の地下鉄100周年を記念し、各種施策を展開していく予定です。どうぞご期待ください。

<上野駅における除幕式>



(左から)アンディ・ロード氏、サディク・カーン市長、小坂社長

<関係者での記念撮影>



ロンドン市長 サディク・カーン氏によるコメント

東京の地下鉄開通100周年を目前に控え、上野駅にロンドン交通局の駅名標を贈呈できることを、大変嬉しく思います。銀座線の着想がロンドン地下鉄に由来しているという事実は、非常に意義深いものです。そして現在、東京メトロが世界有数の旅客数を誇る都市鉄道であり、さらに私たちの最新かつ画期的なエリザバス線の運営に携わっていることは、両者の関係がまさに一つの円環を成していることを象徴しています。私たちは、すべての人々のために、より環境に優しく、より良く、より豊かな都市を築いていく中で、引き続き協力し合い、互いに学び合えることを大変嬉しく思います。

ロンドン市交通局コミッショナー アンディ・ロード氏によるコメント

東京メトロを訪問し、2027年の地下鉄開通100周年を記念して、ロンドンの交通網で広く用いられているものと同様の駅名標の贈呈に協力できたことを光栄に思います。私たちの象徴である駅名標は世界中で広く認知されており、安全性とサービスに対する信頼の象徴として、すべてのロンドン市民に親しまれています。両地下鉄が、日々数百万人の利用者にサービスを提供し続ける中、来年以降、上野駅をご利用の皆さまにこのマークをご覧いただけるようになることを、心より楽しみにしております。

東京メトロ代表取締役社長 小坂彰洋によるコメント

東京の地下鉄開通100周年を来年に控える中、東京の地下鉄の原点となったロンドンの地下鉄を運営するロンドン市交通局から駅名標の寄贈を受け、カーン市長に上野までお越しいただき除幕を一緒に行えたことを大変名誉に思います。2025年5月から参画しているエリザバス・ラインの運営事業に続きロンドンと当社を結びつけるものがまた一つ増え、来年以降上野駅をご利用になるお客様にも当社とロンドンの地下鉄とのご縁を駅名標を通して感じていただけることは非常に喜ばしいことです。本件の実現に向けてご尽力いただいたサディク・カーン ロンドン市長、アンディ・ロード ロンドン市交通局コミッショナー、ならびにご関係の皆様にご心より感謝いたします。